

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 27年3月 30日

計画の名称	8 伊勢志摩生活創造圏における幹線道路へのアクセス強化と災害に強い安全でにぎわいのあるまちづくり		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度（5年間）	交付対象	伊勢市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、鳥羽市、志摩市
計画の目標			

主要幹線道路へのアクセス強化による安全かつ快適な道路ネットワークの整備と通学路における危険箇所への対策を実施し、併せて交通弱者の利便性の向上、沿道施設の環境改善や利用促進、救急・消防活動等の災害に備えた防災対策機能を強化することにより、安全・安心な環境を整備し地域が活性化するまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）
 緊急時主要道路における安全に通行できる区間の割合を増加
 通学路における危険箇所（H24緊急合同点検対策必要箇所）の対策率の向上
 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率の向上。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)				
① 各地区の避難地（公民館、学校等）及び拠点施設（庁舎等）と幹線道路を結ぶ主要な道路の内、安全に通行できる（幅員4m以上等）の割合を算出する。 安全通行可能道路率 = (Σ想定される緊急時主要道路延長の内、安全通行可能道路延長) / (Σ想定される緊急時主要道路延長) × 100 (%)	31.3%	61.1%	85.4%				
② 通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率の算出 危険箇所対策率 = 対策済み箇所数 ÷ H24緊急合同点検対策必要箇所 × 100 (%)	0%	0%	50%				
③ 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率を算出 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区率(%) = 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区数 ÷ コミュニティ地区数 × 100 (%)	0%	76%	81%				
全体事業費	合計 (A + B + C)	7,187 百万円	A 4,665 百万円	B 0 百万円	C 2,522 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	35.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成27年3月
交付対象市町において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	公表の方法
	各市町のホームページ等により公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）		事業内容 （延長・面積等）		市町村名	H21	H22	H23	H24	H25			
8-A1	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 勢田5号線外1路線	バイパス	L=260m	伊勢市						8		
8-A2	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(2) 神久1号線外1路線	待避所設置	L=180m	伊勢市						30		
8-A3	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 西36号線外1路線	バイパス	L=260m	伊勢市						80		
8-A4	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 裏浜第3線	舗装新設	L=890m	伊勢市						17		
8-A5	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 中村橋部17-1号線	バイパス	L=0m	伊勢市						0		
8-A6	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	修繕	0.55	(他) 神路線外2路線	舗装修繕	L=1,110m	伊勢市						92		
8-A7	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 茶屋25号線	バイパス	L=100m	伊勢市						75		
8-A8	道路	一般	伊勢市	直接		市町村道	交安	0.55	(2) 小俣20号線	自歩道整備	L=153m	伊勢市						24		
8-A9	道路	一般	玉城町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 中楽朝久田線	現道拡幅	L=0.61km	玉城町						137		
8-A10	道路	一般	玉城町	直接		市町村道	交安	0.55	(1) 玉城駅前線外1路線	歩道整備	L=3.0km	玉城町						23		
8-A11	道路	一般	玉城町	直接		市町村道	交安	0.55	(1) 田丸土羽線外2路線	カラー舗装	L=0.65km	玉城町						50		
8-A12	道路	一般	玉城町	直接		市町村道	交安	0.55	(他) 野篠第1号線	自歩道整備	L=0.92km	玉城町						95		
8-A13	道路	一般	度会町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2) 栗原本郷線（栗原橋）	耐震補強	L=59.0m	度会町						15		
8-A16	道路	一般	度会町	直接		市町村道	改築	0.55	(1) 川南線	現道拡幅	L=1.3km	度会町						96		
8-A17	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	改築	0.55	(2) 野添金輪線外1路線（金輪橋）	橋梁架替	L=281.15m	大紀町						298		
8-A18	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 笠木線（山神橋）	耐震補強	L=19.8m	大紀町						14		
8-A19	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2) 大内山錦線（本郷橋）	耐震補強	L=23.8m	大紀町						4		
8-A20	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	改築	0.55	(他) 西沖大切線外1路線	現道拡幅	L=540.0m	大紀町						79		
8-A21	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他) 三ヶ野2号線（松原橋）	耐震補強	L=24.5m	大紀町						4		
8-A22	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他) 新田大谷線（大谷口橋）	耐震補強	L=25.3m	大紀町						5		
8-A23	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	改築	0.55	(2) 若瀬野戸瀬沖線（若瀬橋）	橋梁架替	L=121.0m	大紀町						44		
8-A24	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2) 藤広線（小広瀬橋）	耐震補強	L=67.3m	大紀町						17		
8-A25	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1) 栄町1号線（二河内橋）	耐震補強	L=19.4m	大紀町						8		
8-A26	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他) 米ヶ谷向井下里線（板本橋）	耐震補強	L=31.0m	大紀町						6		
8-A27	道路	一般	大紀町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2) 藤成谷線（神の上橋）	耐震補強	L=25.5m	大紀町						6		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24	H25			
8-C1	施設整備	一般	伊勢市	間接	自治会	防犯灯設置	0.55	防犯灯設置事業	防犯灯の設置	伊勢市						7	
8-C2	社会実験	一般	伊勢市	直接		防災	0.55	地域防災力向上支援事業	防災マップ作成	伊勢市						1	
8-C3	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.50	緊急車両購入事業	水槽付消防ポンプ自動車 1台	伊勢市						19	消防組織法第49条第2項
8-C4	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.55	緊急車両購入事業	指揮車購入 1台	伊勢市						7	
8-C5	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.55	緊急車両購入事業	後方支援車購入 1台	伊勢市						5	
8-C6	施設整備	一般	伊勢市	直接		貯水槽設置	0.50	貯水槽設置事業	耐震性貯水槽 40t 1基	伊勢市						5	消防組織法第4条第2項10
8-C7	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.55	緊急車両購入事業	火災原因調査車 1台	伊勢市						5	
8-C8	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.55	緊急車両購入事業	小型動力ポンプ付車積載車 7台	伊勢市						33	
8-C10	施設整備	一般	伊勢市	直接		施設整備	0.55	地域防災力向上支援事業	防災行政無線整備	伊勢市						1,013	
8-C13	施設整備	一般	玉城町	直接		機材購入	0.55	災害用備品購入	防災組織 資機材の購入	玉城町						27	
8-C14	施設整備	一般	玉城町	直接		防火水槽	0.50	貯水槽設置事業	耐震性貯水槽 6基	玉城町						28	消防組織法第4条第2項10
8-C16	施設整備	一般	度会町	直接		公園整備	0.55	宮リバー一度会パーク整備事業	青樹園及び子供広場 A=2ha	度会町						10	
8-C17	施設整備	一般	大紀町	直接		施設整備	0.55	緊急避難路整備事業	避難路整備 1箇所	大紀町						36	
8-C18	施設整備	一般	大紀町	直接		施設整備	0.50	貯水槽設置事業	耐震性貯水槽整備	大紀町						21	消防組織法第4条第2項10
8-C19	施設整備	一般	大紀町	直接		施設整備	0.55	消火栓設置事業	消火栓整備	大紀町						0	
8-C20	施設整備	一般	大紀町	直接		車両購入	0.55	消防関係資機材購入	小型動力ポンプ車等購入	大紀町						10	
8-C21	施設整備	一般	大紀町	直接		機材購入	0.55	無線受信機購入	防災無線受信機 N=60台	大紀町						4	
8-C22	施設整備	一般	大紀町	直接		機材購入	0.55	自主防災組織災害用備品購入	防災組織備品購入	大紀町						4	
8-C25	公共交通	一般	鳥羽市	直接		救急車購入	0.50	地域防災力向上支援事業	救急車 1台	鳥羽市						31	消防組織法第49条第2項
8-C27	施設整備	一般	志摩市	直接		施設整備	0.55	防災行政無線整備事業	個別受信機設置	志摩市						627	
8-C28	施設整備	一般	志摩市	直接		観光施設整備	0.55	観光情報案内看板整備事業	観光客等の誘導整備	志摩市						2	
8-C29	施設整備	一般	志摩市	直接		施設整備	0.50	貯水槽設置事業	耐震性貯水槽整備	志摩市						10	消防組織法第4条第2項10
8-C30	施設整備	一般	志摩市	直接		公園整備	0.55	円山公園整備事業	公園施設整備	志摩市						12	
8-C31	施設整備	一般	伊勢市	直接		車両購入	0.50	緊急車両購入事業	救助工作車購入 1台	伊勢市						50	
8-C32	計画検討	一般	伊勢市	直接		計画・調査	0.5	長寿命化修繕計画	N=30橋	伊勢市						3	※
8-C33	計画検討	一般	大紀町	直接		計画・調査	0.5	長寿命化修繕計画	N=48橋	大紀町						5	※
8-C34	計画検討	一般	南伊勢町	直接		計画・調査	0.5	長寿命化修繕計画	N=54橋	南伊勢町						2	※
8-C35	計画検討	一般	鳥羽市	直接		計画・調査	0.5	長寿命化修繕計画	N=19橋	鳥羽市						4	※
8-C36	計画検討	一般	志摩市	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=33橋	志摩市						2	
8-C37	計画検討	一般	度会町	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=21橋	度会町						8	
8-C38	計画検討	一般	伊勢市	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=30橋	伊勢市						1	
8-C39	計画検討	一般	大紀町	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=48橋	大紀町						2	
8-C40	計画検討	一般	南伊勢町	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=114橋	南伊勢町						9	
8-C41	計画検討	一般	鳥羽市	直接		計画・調査	0.55	長寿命化修繕計画	N=21橋	鳥羽市						3	
											合計		2,006				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
8-C1	地方道路整備事業による道路ネットワークの整備と一体的に防犯灯整備を行ない、通行者および地域住民の交通安全対策・防犯対策を強化する。																
8-C2	タウンウォッチャー等により緊急避難ルートを確認し、整備が必要とされるルートを描出することにより今後の緊急避難ルート整備計画の参考にするとともに、危険箇所等を記載した防災マップを作成することにより、災害に強いまちづくりを目指す。																
8-C3	化学車を増車配備することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。																
8-C4	指揮車を高機能化することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。																
8-C5	後方支援車を高機能化することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。																
8-C6	防災施設を整備することにより防災機能の強化を図り地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、地域住民の安全・安心を確保する。																
8-C7	火災原因調査車を新規購入し配備することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。																
8-C8	小型動力ポンプ付積載車を高機能化することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。																
8-C10	地域防災無線を整備し情報ネットワークを強化することで、地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、緊急時に道路ネットワークを効果的・効率的に活用し地域住民の安全を確保する。																
8-C13	(8-A9)のアクセス道路整備と併せて、各地区防災組織に災害用資機材(簡易浄水器・発電機等)を配備し災害に備えた避難路整備と地域防災力の向上を一体的に行なうことで、地域住民はもとより道路利用者の救援活動を支援する。																
8-C14	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、防災施設を整備することにより防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。																
8-C16	公園の施設整備を行ない道路利用者への休憩施設の提供と利用促進を図ることで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、地域を活性化に繋げる。																
8-C17	町道から高台の避難施設(津波時)までの避難路を整備することで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。																
8-C18	耐震性貯水槽を整備することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。																

8-C19	消火栓を整備することにより地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。	
8-C20	防災車両等を新規購入し配備することにより地方道路整備事業と一体となって、道路ネットワークを活用した防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。	
8-C21	防災時用の無線受信機を配備し迅速な避難路情報等の収集を可能にすることで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、防災力の向上を図る。	
8-C22	(8-A18)ほか橋梁耐震補強と併せて、新規結成した自主防災組織へ災害に備えた資機材を配備することにより、地域住民はもとより道路利用者の救助・救援活動を支援する。	
8-C25	緊急車両の高機能化により地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。	
8-C27	地域防災無線を整備し情報ネットワークを強化し、地方道路整備事業と一体となって、緊急時に道路ネットワークを効果的・効率的に活用することで地域住民の安全を確保する。	
8-C28	地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、主要施設の観光案内板設置を行ない目的地までの経路把握を容易にすることで、道路交通の円滑で安全な環境を構築する。	
8-C29	防火水槽を整備することにより地方道路整備事業と一体となって、道路ネットワークを利用した防災機能の強化を図り地域住民の安全・安心を確保する。	
8-C30	公園の施設整備を行ない道路利用者への休憩施設の提供と利用促進を図ることで地方道路整備事業による道路ネットワーク整備と一体となって、地域を活性化に繋げる。	
8-C31	救助工作車の増車配備を地方道路整備事業による避難路整備と一体となって整備することで、災害時等に対する防災機能を向上させ地域住民の安全を確保する。	
8-C32	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	※
8-C33	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	※
8-C34	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	※
8-C35	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	※
8-C36	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	
8-C37	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	
8-C38	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	
8-C39	修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	
8-C40	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	
8-C41	橋梁を点検し、修繕計画を策定することにより、安全が確保され安心して通行できる橋梁整備を行う。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																									
I 定量的指標に関連する		<ul style="list-style-type: none"> ・ その他市道勢田5号線、その他市道椛尻川22-10号線などのバイパス整備や、2級町道田曾浦宿浦線などの現道拡幅、及び2級町道野添金輪線外1路線（金輪橋）の橋梁架け替え等の道路ネットワーク整備を行った結果、避難地及び拠点施設と主要幹線道路を結ぶ主要な道路における狭隘区間の多くが解消されて安全に通行できる道路延長が増加したことにより、地域住民の利便性及び安心・安全の向上を図ることができた。 また、1級町道玉城駅前線などの自歩道整備や、その他市道森崎村山線などの側溝・舗装修繕を行った結果、交通弱者の安心・安全及び利便性向上を図ることができた。 ・ 殿町栄町線外9路線における歩行空間整備（カラー舗装）や1級市道安久志線などの側溝・舗装修繕を行った結果、通学路の危険箇所が減少し、児童の通学時における安全・安心を向上が図ることができた。 ・ 2級町道栗原本郷線（栗原橋）の橋梁耐震対策や、その他町道棚橋里中線のバイパス整備、錦地区における避難路整備等を行った結果、災害時における避難路確保等の防災機能強化など地域住民の安全・安心の向上を図ることができた。 																							
II 定量的指標の達成状況		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">指標①（各地区の避難地（公民館、学校等）及び拠点施設（庁舎等）と幹線道路を結ぶ主要な道路の内、安全に通行できる（幅員4m以上等）の割合）</td> <td>最終目標値</td> <td>85.4%</td> <td rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</td> <td rowspan="2">要素事業の一部で、用地境界の確定に期間を要したことや、用地取得が難航したこと、また、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。</td> </tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">指標②（通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率）</td> <td>最終目標値</td> <td>50%</td> <td rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</td> <td rowspan="2">要素事業の一部で、用地取得が難航したことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画通り事業進捗が図れなかった。</td> </tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">指標③（沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率）</td> <td>最終目標値</td> <td>81%</td> <td rowspan="2">目標値と実績値に差が出た要因</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>最終実績値</td> <td>81%</td> </tr> </table>			指標①（各地区の避難地（公民館、学校等）及び拠点施設（庁舎等）と幹線道路を結ぶ主要な道路の内、安全に通行できる（幅員4m以上等）の割合）	最終目標値	85.4%	目標値と実績値に差が出た要因	要素事業の一部で、用地境界の確定に期間を要したことや、用地取得が難航したこと、また、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。	最終実績値	75.0%	指標②（通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	要素事業の一部で、用地取得が難航したことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画通り事業進捗が図れなかった。	最終実績値	42%	指標③（沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率）	最終目標値	81%	目標値と実績値に差が出た要因	-	最終実績値	81%
指標①（各地区の避難地（公民館、学校等）及び拠点施設（庁舎等）と幹線道路を結ぶ主要な道路の内、安全に通行できる（幅員4m以上等）の割合）	最終目標値	85.4%	目標値と実績値に差が出た要因	要素事業の一部で、用地境界の確定に期間を要したことや、用地取得が難航したこと、また、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。																					
	最終実績値	75.0%																							
指標②（通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	要素事業の一部で、用地取得が難航したことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画通り事業進捗が図れなかった。																					
	最終実績値	42%																							
指標③（沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率）	最終目標値	81%	目標値と実績値に差が出た要因	-																					
	最終実績値	81%																							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> 1級市道岩崎樋ノ山線（岩崎大橋）などの橋梁耐震対策を行ったことにより、橋梁の耐震性が向上し、大規模な地震発生に備えた避難路等の通行を確保することができた。 ・ その他町道福浦線外4路線の側溝・舗装修繕を行ったことにより、路面排水の改善及び快適な走行性を回復し、道路利用者及び地域住民の安心・安全の向上を図ることができた。 ・ 橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、円滑なメンテナンスサイクルを構築し効率的かつ効果的な橋梁修繕を図ることができた。 																							
3. 特記事項（今後の方針等）																									
<p>事業継続中の箇所について、早期に事業効果が発現できるよう事業進捗を図るなど、引き続き計画的な道路整備及び橋梁の修繕や耐震対策を推進し、地域が活性化するまちづくりを目指すとともに、生活環境や防災機能の向上を図るなど地域住民の安全安心を強化していく。</p>																									